

## Faunal utilization during the Prehistoric age in the Pan-East China Sea region 环东海史前时代的动物利用（環東シナ海の先史時代における動物利用）

**趣旨:** 当該プロジェクトでは、2015 年度より浙江省文物考古研究所と共同研究を実施しており、そのなかで、中国新石器時代長江下流域における動物利用について分析研究を進めている。プロジェクトも 3 年が経過し、その間、中国の若手動物考古学者と交流を深めるなかで、集落社会から都市化へと社会が複雑化する段階で、どのように動物利用の様相が変化していくのか議論を続けてきた。また、これまで西アジアの動物考古学に牽引されてきた動物利用モデルに対し、東アジアに適合した新たな動物利用モデル形成の可能性を模索してきた。本シンポジウムでは、これまでの研究成果を基礎とし、中国新石器時代の沿岸地域、また日本縄文時代の九州地方という、「環東シナ海」をとりまく同時代の動物利用の様相を、背景にある社会発展段階を考慮に入れながら比較検討することで、その普遍性と相違点を抽出し、東アジアにおける新たな動物利用モデルの提唱を目指す。

**日時:** 2018 年 8 月 29 日 (水) 13:00～17:00 (12:30 開場)

**場所:** 京都大学東京オフィス (東京駅北口新丸ビル内)

**使用言語:** 英語・中国語

**参加事前申込制・入場無料:** 50 名程度 (8 月初旬締切)

**申込方法:** ①氏名 ②所属を下記担当までご連絡ください。

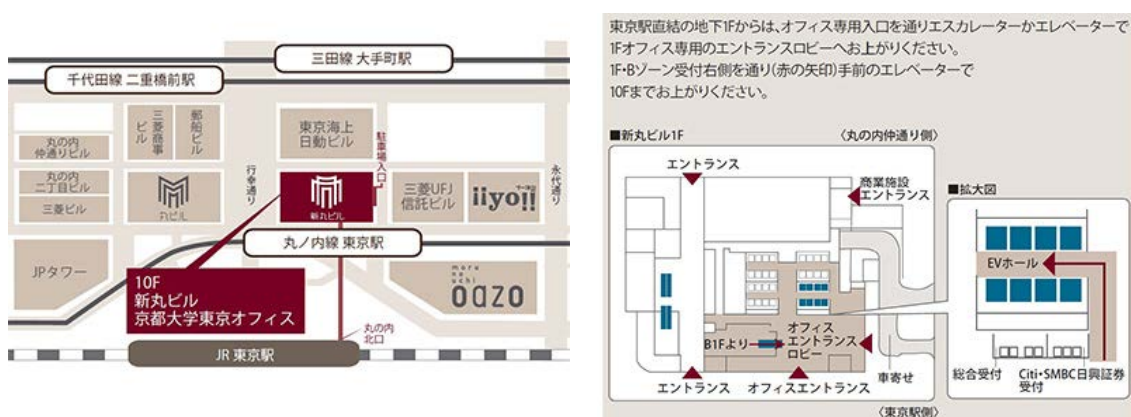
maruyamasashi@gmail.com (丸山真史)

**発表者:** 丸山真史 (東海大)、江田真毅 (北海道大)、張穎 (北京大)、余翀 (中山大)

宋姝 (浙江省文物考古研究所)、高穎彤 (ハーバード大)、菊地大樹 (中国社会科学院)

※プログラムは決定し次第、改めてアナウンスいたします。

### アクセスマップ:



JR、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」直結

東京駅新幹線ホームより徒歩 10 分。丸の内北口改札出ですぐ。